



養殖の説明を受ける知事(板馬くるまえび養殖場)



稲作体験(受水走水)



「おとうまきび酢を試飲(株式会社たまぐすく)」



佐敷町・知念村・玉城村・大里村

知事視察広聴

8月12日、来年1月に市町村合併により新たに「南城市」となる佐敷町・知念村・玉城村・大里村内の各地の視察と直接住民から意見や要望を聞く広聴会を開催しました。



あざまサンサンビーチ

知念村視察

知念村では、約八ヘクタールもの広大な養殖場でくるまえびを養殖している「板馬(いちちゃんま)くるまえび養殖場」を視察したほか、本島南部で唯一の人工ビーチの「あざまサンサンビーチ」、世界遺産に登録されている「斎場御嶽(セーファウタキ)」、国指定史跡文化財の「知念城跡」などを視察しました。



城跡の説明を受ける知事(知念城跡)



「糸数城跡」では、現在行っている城壁などの保存修復について説明を受けました。

玉城村では、パイアの生産・販売を行っている「志堅原果樹生産組合」、琉球の稲作の発祥地といわれる「受水走水(ウキンシュウハイシユ)」、国指定史跡文化財の「糸数城跡」、玉城の特産品であるさとうきび酢を製造・販売している「株式会社たまぐすく」などを視察しました。

玉城村視察



田植え前の子供たち(受水走水)



港の説明を受ける知事(馬天港)

佐敷町視察

佐敷町では、「馬天港」を視察した後、文化・芸術の創造の場である「シュガーホール」を視察しました。「シュガーホール」では、子どもたちによる合唱や新人演奏会入賞者の演奏などを鑑賞し、子どもたちの熱心さと演奏のレベルの高さに感心しました。



シュガーホールジュニアコーラスの合唱



新人演奏会入賞者による演奏



農作物の説明を受ける知事(軽便駅かりゆし市)



大里村でゲームを楽しむ

大里村視察

大里村では、村内の農家が集まって立ち上げた農産物直売所の「軽便駅かりゆし市」を視察したほか、「大里村デイスーパーセンター」では、明るく元気に利用者の方々と一緒にゲームなどを行い、利用者の元気の良さに圧倒されながらも楽しいひとときを過ごすことができました。

おわりに

南部地域での知事視察広聴は今回が初めてということで、住民の皆さんと同様、知事も大変心待ちにしました。1日という限られた時間のなかで、4町村を視察する過密な日程ではありましたが、4町村の方々と出会い、地域の生活や実情などを直接見聞できた良い機会であり、また、新市の誕生に向けての熱意を感じた視察広聴となりました。

住民歓迎交流会

地元開催の歓迎交流会は、屋外の知念岬公園で行われました。太平洋を一望できるすばらしい景色の中、多くの住民の方が参加し、地元の伝統芸能を披露するなど華やかムードの中、住民の皆さんと交流を深めることができました。



多くの住民の方が参加しました



フィナーレはカチャーシーで



伝統芸能を披露



太平洋が一望できる知念岬公園

「知事を囲むふれあい広場」開催

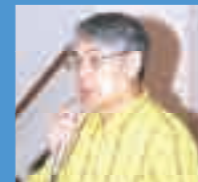
知念村の社会福祉センターで行われた広聴会には、合併協議会会長の知念村長ら4町村の幹部をはじめ、町村民約250名が参加しました。

はじめに知事は「沖縄本島南部に、海と緑と光あふれる南城市が誕生することを待ち望んでいるところであります。」とあいさつし、新市誕生への期待を表明了。

各町村及び合併協議会からは計8項目の要望が上げられました。「合併市町村への財政支援」、「南部東道路等の整備」、「都市計画区域への編入」など合併に関わる要望も多く、知事も積極的に支援する姿勢を示しました。



多くの要望があがりました



要請書を手渡す合併協議会会長



町村民約250人が参加(知念村社会福祉センター)

